

# 令和元年度 関係者評価書 (川南町立多賀小学校)

評定 【4…期待以上 3…ほぼ期待どおり 2…やや期待を下回る 1…改善を要する】

| 項目                          | 評価指標及び<br>具体的目標   | 自己評価 |    | 結果の考察・分析<br>および改善策等  | 関係者評価 |    | 学校関係者評価委員の意見  |
|-----------------------------|---|------|----|--|-------|----|---|
|                             |   | 項目   | 総合 |  | 項目    | 総合 |   |
| I<br>町民総ぐるみによる教育の推進         | 1<br>学校や家庭、地域等が一体となって取り組む教育を推進する。<br>・ 家庭学習の充実と推進<br>・ 地域と連携した学習や行事の充実<br>・ 地域人材及び素材の活用                                 | 3    | 4  | 家庭学習の手引きについて学級懇談で説明し、質の向上は図られたが個人差もあり、更に指導が必要である。<br>下学年の栽培活動、中学年の福祉学習、高学年の田植えなどに地域人材をゲストティーチャーとして招くことで、豊かな体験活動と学習の充実につながった。                       | 3     | 4  | ・ 地域の人材の活用を更に計画的に行うとよい。<br>・ 1学期と結果分析が同じである。(変わるはず)<br>・ 家庭学習については、今後も引き続き家庭に訴え続けることが大事である。   |
|                             | 2<br>家庭や地域の教育力の向上に努める。<br>・ 挨拶と返事の地域ぐるみの推進<br>・ 教育情報の発信と啓発<br>・ PTA組織の機能向上  | 4    |    | 立番指導や校内において積極的に挨拶指導を行うことで、児童の挨拶が良くなったとの声がかかれた。<br>4月の参観日の全校懇談会において、次年度完全実施される学習指導要領の説明を行い、保護者への理解を深めた。   | 4     |    | ・ 教育現場が、率先垂範し結果挨拶が良くなったことは評価できる。<br>・ 校外に出ても校内と同じように挨拶をする意識を深めたい。何のために挨拶をするのかを意味を自覚させることも必要である。<br>・ 学校の諸活動に父親の参加があることが良い。  |
|                             | 3<br>開かれた学校づくりを推進する。<br>・ さまざま機会を活用した学校情報の積極的発信<br>・ 保護者、地域の方々の学校参観と訪問の推進<br>・ 地域関係機関との連携                               | 4    |    | ホームページを随時更新し、学校の取組について情報発信を行った。<br>計画的に学校参観日の案内を行い、学校参観を推進することで、平均88%と参観率が高まった。<br>学級参観給食試食会を行い、児童とGBAの方々が歓談や交流をした。                                | 4     |    | ・ ホームページには細かく学校行事を掲載して欲しい。<br>・ 校長だよりが毎月書かれることを望む。<br>・ 情報発信をホームページ等で行い、参観率88%は非常によい。<br>・ ホームページをどのくらいの頻度で更新しているのかを、どれくらいの保護者が知っているのかと思う。  |
| II<br>生きる基盤を育む教育の推進         | 1<br>確かな学力を育む教育を推進する。<br>・ 教職員の授業力向上と授業展開の工夫<br>・ 学校全体での組織的な学力支援<br>・ ICTの技能向上と効果的な活用<br>・ 読書の充実と新聞の効果的な活用<br>・ 家庭学習の充実 | 4    | 3  | 模擬授業を計画的に行い、授業の改善につながっている。<br>夏季休業中のOJTタイムにおいて、ICTの活用に関する研修を行い、指導技術の向上に努めた。<br>学校図書は購入は、計画的に進めている。<br>家庭学習の内容について、具体的な家庭向けの説明書を配付し、充実してきた。         | 4     | 3  | ・ 図書館の本の整備状況はすばらしい。<br>・ 教育技術向上のための日々の研鑽は今後も務めていただきたい。<br>・ 児童がとても真剣に授業を受けている。このことは普段から努力をされているからだと思う。<br>・ 模擬授業の取組は大変すばらしい。<br>・ 模擬授業の実施と授業の改善の取組、図書館の整備はよい。<br>・ 先生方の取組については実際に目にすることがないため評価が難しい。   |
|                             | 2<br>豊かな心を育む教育を推進する。(人権意識の高揚)<br>・ 相手の立場を思いやることのできる児童の育成<br>・ 特別の教科道徳の授業実践と充実のための研修<br>・ いじめ、不登校ゼロへの生徒指導充実              | 3    |    | 夏季休業中に人権研修を行い、人権意識が向上した。<br>道徳の外部講師を招いての講義研修を行い、教職員の理解と実践力を高めた。<br>毎月、全職員で生徒指導対策会を開き、積極的認知と児童理解に努めている。把握したいいじめ・不登校へは、すぐに全職員で対応できるようにしている。          | 3     |    | ・ 道徳の評価方法を知りたい。授業も実際に見てみたい。<br>・ 我がも人権問題の意識を高めて子どもたちを守りたいものである。<br>・ いじめ不登校への全職員取り組んでいる現在の対応はよい。<br>・ 人権について保護者に対して行っている研修が良い。<br>・ 道徳の評価は不確定要素が多いと思われる。  |
|                             | 3<br>健やかな体を育む教育を推進する。<br>・ 体力テストの分析結果を基にした体力向上<br>・ 基本的な生活習慣の徹底及び食育の推進<br>・ 疾病治療の促進                                     | 3    |    | 体育科の運動のねらいに迫る授業はできている。2学期は体力テストの分析を行い、授業や日常の運動と関連させていく。<br>メディアの影響については、更に保護者への啓発を充実させていく必要がある。また、児童に対しても、これまで以上に長短両面を含めた情報活用の在り方を指導していく必要がある。     | 3     |    | ・ 体力テストの分析結果、またその後の指導と変容も知りたい。<br>・ 今後の人生に向かい、心身の健康は何よりも必要なもので、更に保健体育指導は続行してほしい。<br>・ 体力テストの結果はどうだったか知りたい。<br>・ 1年生の半そで姿が多く見られた。結果、インフルエンザが少ないことも良い。<br>・ メディアの影響、ゲーム等の規則等問題点が多い。また、体力の向上は今後の課題である。<br>・ 体を動かすことの楽しみが分かるような内容ならありがたい。<br>・ メディア教育は子どもと親と一緒にいったほうが良い。                                  |
|                             | 4<br>共生社会を目指す特別支援教育を推進する。<br>・ 個々の実情の把握と必要十分な支援への取組<br>・ 校内支援体制の整備と関係機関との連携   | 4    |    | 特別支援教育の体制は整っており、個に対応した教育がなされている。保護者との協力・共通理解も充実してきている。今後も関係機関との連携を図っていく。   | 4     |    | ・ 関係機関とはどこで、どのような連携をとったのか。<br>・ 支援が必要な子どもにとってよい環境が整っていて感謝する。関係機関について、保護者への理解のための説明等難しい。<br>・ 担任が、児童にとってもやさしく質問し、理解できているかどうか等を繰り返し確認しながら授業が進められていた。<br>・ 個別指導の充実がよい。   |
| III<br>育む自立した社会人、職業人を       | 1<br>ふるさと川南に学び、誇りや愛着を育む教育を推進する。<br>・ 総合的な学習の時間を通じた地域学習の充実<br>・ 地域の行事への積極的な参加<br>・ 行事等における町歌斉唱                           | 3    | 3  | 指導計画の見直しを行い、地域学校協働本部と連携することで、今まで以上に地域学習が充実してきた。更に地域人材について積極的に活用していくよう努力する。<br>町歌の指導について、行事等で歌唱する場を設けるなどし、更に充実させていく。                                | 3     | 3  | ・ 自ら学び自ら考えるなど、学習時間の目標を達成しているのか。<br>・ 地域の先輩が色々助言してくださっていると聞く。更に呼びかけて地域とのつながりを深めてほしい。<br>・ アンケート結果から、親の意見が気になる。課題指摘が多い。<br>・ 地域の方々、両親がまず、川南町に対する誇りや愛着を育むことが大切だと思う。<br>・ 子どもに良い環境を与えることがまちづくりの基本、行政との連携が必要である。<br>・ 多賀別館等での活動の幅が広がるとよい。(地域への興味増進)<br>・ 学校だけでは地域のことや川南のことを学べないなら、地域の方に相談したり依頼したりしてみてもどうか。 |
|                             | 2<br>キャリア教育を推進する。<br>・ 学習の基礎となる「自ら学び、考え行動する力」の育成<br>・ 望ましい勤労観、職業観の確立と自立   | 4    |    | キャリア教育の研修を行い、2学期以降に活用していく。<br>特別活動で地域人材を活用したキャリア教育を計画している。   | 4     |    | ・ 小・中学校を見据えた9年間の計画を知りたい。<br>・ 人材の確保と活用の状況を知りたい。   |
| IV<br>魅力ある教育を支える体制や環境の整備、充実 | 1<br>教職員の資質向上に努める。<br>・ 教職員の個々の授業力向上とOJTの推進<br>・ 法令遵守の徹底と計画的なコンプライアンス研修の実施<br>・ 働き方改革の推進                                | 3    | 3  | 重点支援校訪問において、一人一人の授業について指導主事よりフィードバックを行った。<br>2学期に2回行う計画である。<br>コンプライアンスについてはチェックリストを基に、意識の向上を図った。<br>毎週金曜日に設定したリフレッシュデイが、各職員の工夫で以前より実践されるようになってきた。 | 3     | 3  | ・ 学校訪問によって、指導主事の個々の教師に対する助言が、実際の授業にどう生きて、どう変わったのかを知りたい。<br>・ 働き方改革で、更にリフレッシュして、将来に向かう子どもたちにも生きがいを見出せる喜びを与えてほしい。<br>・ コンプライアンスの理解浸透には、職員の情報共有や事例研究が必要だと思う。<br>・ リフレッシュデイの取組と実践は「○」である。<br>・ 地域との交流を伴う研修もあってよいのではと思う。<br>・ 学校の自主評価である。<br>・ リフレッシュデイがもう少し充実してもよいのではないかと、先生に余裕をもってもらうほうが良い環境になると思う。      |
|                             | 2<br>学校における安全、安心の確保に努める。<br>・ 登下校時の安全指導の徹底<br>・ 校内及び校区内の安全整備<br>・ 緊急時の避難体制の整備<br>・ 緊急時の行動マニュアルの整備                       | 4    |    | 地域の方々の協力を得て登下校時の安全指導を更に充実させることができた。また、月1回の安全点検を実施することにより、必要な対応ができていく。<br>風水害の避難訓練、引き渡し訓練を行い、危機への対応について確認を行った。                                      | 4     |    | ・ 児童引き渡し訓練の今後の課題を具体的に知りたい。現在のマニュアルどおりにうまくいったのか。<br>・ 子どもたちが援助や協力を得られるのは学校のみではない。地域や保護者にも意識を高めるよう呼びかけことが大切である。<br>・ 学校周辺、登下校の通学路の危険箇所を記した掲示板が掲示しており、分かりやすかった。<br>・ 学校のみで行うだけでなく、地域との連携を考えた安全指導と取組が望まれる。<br>・ 危険箇所への把握と対応、働きかけを引き続きお願いしたい。<br>・ 登校時間の長さは、居住地域によってかなりばらつきがある。                            |